

高知くらしの護身術

163

身体サポート用品

時間かけて商品選びを

(2010年3月16日掲載原稿)

加齢により衰えてきた身体の機能をサポートする便利な用品があります。しかし、操作ミスや不具合により、思いがけない大きな事故を招く危険性があります。事故例や使用時の注意点をお知らせします

事例① 新聞広告を見て購入した補聴器を使用すると、雑音や耳鳴りがして体調不良となった。修理してもらっても同じように耳鳴りがする。

事例② 外出時の歩行補助に手押し車を使ったら後輪に足を引っ掛けて転倒。靭帯損傷で入院した。

補聴器は医療機器です。利用を考える際は耳鼻科の診察を受けた上で、業界の認定制度の下で一定の基準を満たした販売店で購入しましょう。補聴器は一人一人微妙な調整が必要で、慣れるまで時間もかかります。時間をかけ、商品選びや調整をしてもらいましょう。

手押し車（シルバーカー）は手すりなどを使用しなくても自分で歩行できる人用です。国民生活センターが調べた歩行補助車の全銘柄には、「自立歩行ができない人の使用には適さない」と表示があります。買い物等に使用するショッピングカートも、歩行補助目的として使用しないでください。

介護用品や機器にはいろいろな種類があります。介護の程度や目的に応じて選びましょう。介護認定を受けている人は、ケアマネージャーや専門店とよく相談し、レンタル品も上手に使いましょう。

JISマークやSGマークがついたものはそれぞれの規格・基準を満たしており、一定の品質や安全性が認められています。選ぶ際の参考にしましょう。